

国指定史跡 Historic Site



しろとりたていせき

白鳥館遺跡

English

Shirotoritate Iseki



白鳥館遺跡は、北上川の地理的な要害の場所にあり、
古代末期から中世にかけての北上川交通の要衝地としての様相を示す貴重な遺跡です

Shirotoritate Iseki (Shirotoritate Mansion Remains) on a loop of the Kitakamigawa River. From the end of the ancient period and throughout the medieval period this was a strategic point for monitoring all forms of river transport.

岩手県奥州市
Oshu City

遺跡の概要 Outline of Site

白鳥館遺跡は、平泉の中心部から北東に約5km、北上川の西岸に位置する遺跡で、北上川の蛇行部に半島状に突き出した丘陵の一角にあります。この丘陵は、平泉の北を画す丘陵の東端部にあたります。

この遺跡は、前九年合戦（1051～1062）で、源頼義・義家父子と戦った安倍貞任の弟、白鳥八郎則任（行任）の居所と伝えられてきました。現在遺跡には、堀跡や郭、土塁など15世紀の城館の痕跡が良く残されていますが、これまでの発掘調査によって、10世紀から16世紀まで長期間にわたり使われていたことが明らかになっています。10世紀は集落、12～14世紀は手工業生産遺跡、15世紀は城館、16世紀には集落として利用されています。特に12世紀から15世紀までの間は、北上川の湊として機能したと考えられます。

北上川は、「政治・行政上の拠点」である平泉を支える重要な生活基盤であり、北上川なくしては都市「平泉」の発展はあり得ませんでした。奥州藤原氏は、北上川航路を利用して東海地方産の陶器（常滑・渥美窯製品）や、京都から丈六仏（2.7mの仏像）、毛越寺庭園の景石など各地の物資を平泉に取り寄せ、また都へも物資を送っています。

白鳥館遺跡は、南と北に沼や川の合流部があるため川湊には最適な場所でした。また、遺跡は、東側が川の狭隘部という地理的な制約のため、北上川の流路が変動しておらず、平泉を支えた北上川の景観が今に保たれています。

白鳥館遺跡は、平泉の生活基盤を支えた北上川の要衝地として機能した遺跡であり、仏国土（浄土）の都市「平泉」の側面を示す重要な遺跡です。



対岸から見た白鳥館遺跡 Shirotoritate Site from the opposite bank

④ 遺跡の東斜面 Eastern slope of site

北上川に面した遺跡の東斜面の一角では、10～11世紀にかけての遺構や遺物が出土しています。現在の階段状の地形は、城館の造成によって形成されたものですが、それ以前は、北上川に面した緩やかな広い斜面であり、川と密接に関わる場所でした。



④発掘された竪穴式住居跡 (10c) Excavated pit house

⑤ 12世紀の遺構 12th century remains

12世紀の遺構は、L字状に配置される掘立柱建物群と井戸跡群、鉄やかわらけ、銅や数珠玉などを生産・加工した手工業生産遺構群、北上川へ延びる道路跡と、宗教施設の可能性を持つ建物などが低地に展開します。これらの遺構群は、奥州藤原氏の滅亡後も途切れることなく継続し、地点を移動しながら14世紀中頃まで低地に営まれます。14世紀中頃以降は丘陵部に遺跡の主体を移し、15世紀中頃まで中世城館として機能しました。



⑤発掘されたかわらけ窯跡 (12c) Excavated Kawarake (earthenware cups) kiln

① 郭 I Remains of first compound of Fort

15世紀頃に構築された郭（平場）です。もともと先端は川に面していて、周囲を見渡せました。11～15世紀には、通行する舟を見張る舟運の要衝地であったと考えられます。なお、遺跡西側の北上川の蛇行部は、18世紀頃に形成されました。



A 遺跡から西の風景 The view from the Site to the northwest

② 郭 II Remains of second compound of Fort

盛土と切土によって構築された15世紀頃の郭（平場）です。西と北には土塁が廻り、周囲は崖と堀で囲まれています。内部からは多数の建物跡が見つかっています。堀跡や土塁、建物跡の状況から、城館の主たる郭だったと考えられます。平場の東にある大きな石は、当時も出入り口として利用されていました。



B 発掘された通路跡 (15c) Excavated entrance

⑥ 出土した遺物 Excavated Remains

遺跡からは、10～15世紀にかけての土器や陶磁器などが数多く出土しています。これらの遺物から、遺跡は約600年もの間、断続的に使われたことがうかがえます。なかには、赤と黒、白の3色で花の文様が描かれた14～15世紀の「かわらけ」や、12世紀の水晶製数珠玉の未成品など、珍しいものも出土しています。



水晶製数珠玉母珠未成品 (12c)
12th century An unfinished
crystal bead



花の絵が描かれたかわらけ (15c)
15th century earthenware cup
with drawing of flower

③ 堀跡 Remains of Moat

郭 I と郭 II を区画する堀跡です。現在は埋まっていますが、15世紀頃には幅6m、深さ2m前後の堀が、郭 I と郭 II をそれぞれ囲むように廻っていました。



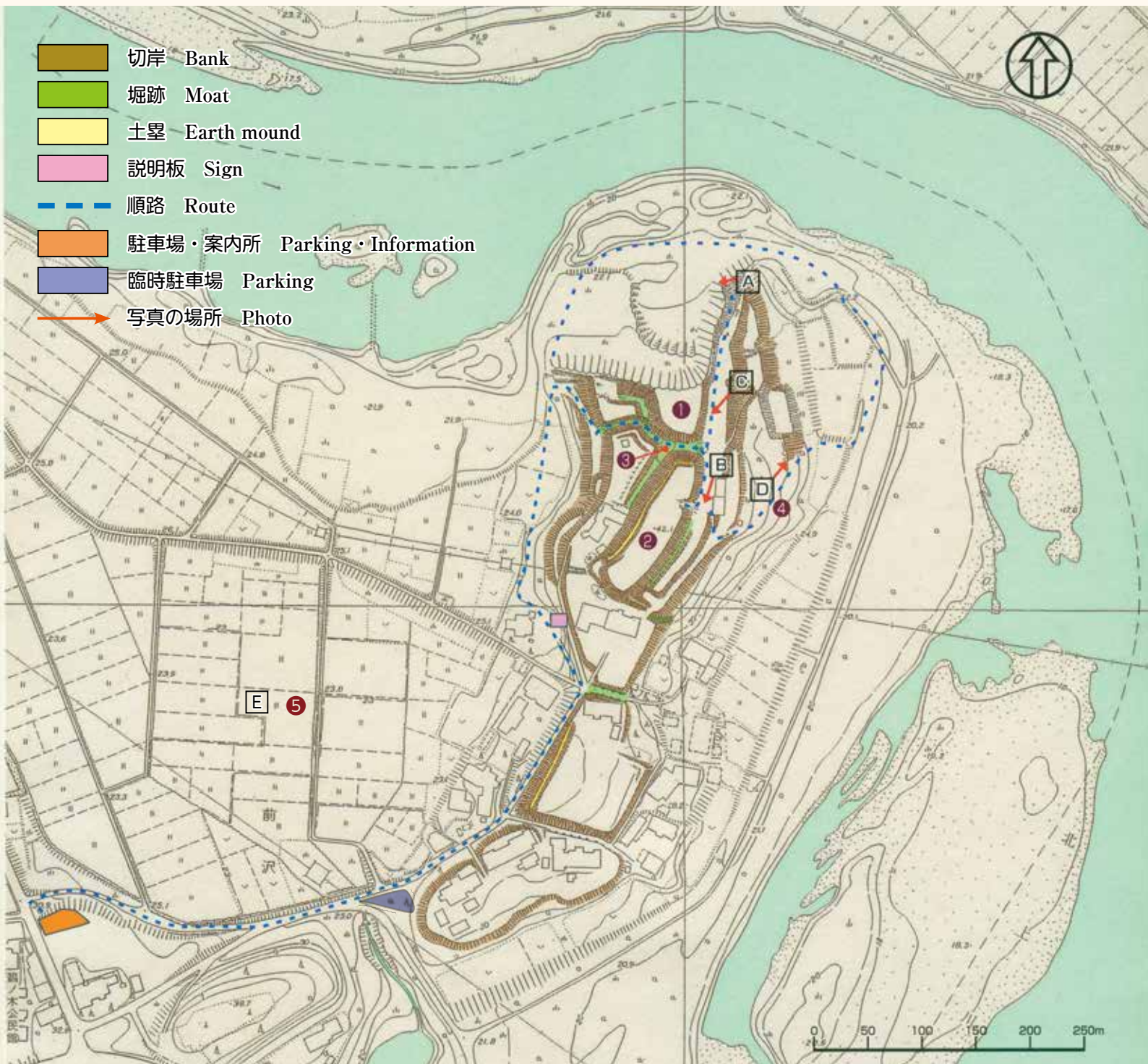
C 発掘された堀跡 (15c) Excavated moat

⑦ 北上川 Kitakamigawa River

現在の北上川は、遺跡の周囲を大きく蛇行していますが、1700年頃の北上川は、蛇行しておらず、遺跡の北で白鳥川と合流し、南へ流れていました。18世紀頃に、遺跡の北西部に大きな蛇行部が形成され、現在に至っています。ただし、遺跡の東側は、地理的な隘路にあり、北上川の流路が古代から現在まで変動していません。そのため、安倍氏や藤原氏の時代と変わらぬ景観が今に保たれています。



北上川古絵図(下胆沢郡大絵図)(1699) 1699 map of Kitakamigawa River



史跡ガイド (奥州市世界遺産登録候補地ガイドの会) 問い合わせ 奥州市商業観光課 TEL 0197-24-2111 (代)

周辺施設のご案内 Information about facilities area

・名所・旧跡 Landmarks / Historic spots

長者ヶ原廃寺跡 Chojagaharahaiji Ato	平泉前史を示す 11 世紀の寺院跡 Remains of 11th century temple	奥州市衣川田中西 55
接待館遺跡 Settaidate Iseki	12 世紀の大規模な遺跡 12th century archeological remains	奥州市衣川七日市場 10-1

周辺の博物館など Area Museum / Area Cultural Artifact Museum

牛の博物館 (白鳥館遺跡出土品展示施設) The Cattle Museum (Facilities for exhibition of items excavated from Shirotoritate Site)	奥州市前沢字南陣場 103-1	0197-56-7666	www.isop.ne.jp/atru/mhaku.html
奥州市 web 博物館 Oshu City Web Museum			https://www.city.oshu.iwate.jp/site/webmuse/

問い合わせ Information

奥州市教育委員会
〒 023-1192 岩手県奥州市江刺大通り 1-8
Oshu City Board of Education
1-8 Odoori, Esashi, Oshu City
TEL : 0197-35-2111
URL : <https://www.city.oshu.iwate.jp/>

2021 年 3 月 改訂

- 見学に際しては**
Visitors are requested to observe the following
- ⚠️ 遺跡は私有地です。住民の方の生活にご配慮ください。
Please do not disturb local residents
 - ⚠️ 史跡内は禁煙です。 Please do not smoke
 - ⚠️ ゴミはお持ち帰りください。 Please take litter home
 - ⚠️ 草木を折ったり採取したりしないでください。
Please do not damage or remove plants